

◎安全点検

(1)施設・設備・園外環境(散策コースや緊急避難先等)の安全点検

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点点検箇所	・遊具の確認	・避難ルート確認 ・避難場所確認 ※避難訓練時	・エアコン点検	・川、プールの確認 ※水遊び時	・川、プールの確認 ※水遊び時	・公園の安全確認 ※使用頻度増える前
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点点検箇所	・遊具の確認	・避難ルート確認 ・避難場所確認 ※避難訓練時	・施設内整備 ・備品 ・送迎車 ※大掃除時		・遊具の確認	・公園の安全確認 ※使用頻度増える前

(2)マニュアルの策定・共有

分野	確認時期	見直し(再点検) 予定時期	管理場所
非常災害対策マニュアル	2025年11月	2026年11月	事業所内
防犯(不審者対応)マニュアル	2025年11月	2026年11月	事業所内
救急対応マニュアル	2025年11月	2026年11月	事業所内
事故予防マニュアル	2025年11月	2026年11月	事業所内

◎訓練のテーマ・取組

(1) 訓練のテーマ・取組

5月、11月	
避難訓練	・地震による火災と雨水出水を想定した避難訓練、消化訓練、通報訓練、情報伝達訓練
その他訓練	・救急対応、不審者対応、
送迎時の対応訓練	・送迎車の見落とし防止
随時	
児童の動きを把握する訓練	・外出時の役割分担や注意点等を確認

(2) 訓練の参加予定者（全員参加を除く。）

訓練内容	参加予定者
避難訓練、その他訓練	当日参加職員(不参加職員は後日議事録を確認)
送迎時の対応訓練	送迎担当職員
児童の動きを把握する訓練	入社職員

(3) 職員への研修・講習（事業所内実施・外部実施を明記）

11月	随時
安全計画研修(事業所内) ・安全計画、避難確保計画の周知 ・想定される事故の予防と起きてしまったときの対応 ・再発防止（事故、ヒヤリハット事例）	・本部研修（外部実施）※年間スケジュール参照 ・市の研修（外部実施）

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール ※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらずメモする

--

◎再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等）

<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハットの日報への記載、及び事故発生時に事故報告書作成・ヒヤリハットや事故の内容は、昼MTG及び安全研修で職員全員に周知し、情報を共有する。・安全研修時にヒヤリハット、事故の再発防止について協議し対策を考える

◎その他の安全確保に向けた取組（地域住民や地域の関係者と連携した取組、登降園管理システムを活用した安全管理等）

<ul style="list-style-type: none">・送迎車両に見落とし防止装置・公園利用時に他利用者とも挨拶を交わし交流を図る

◎児童・保護者に対する安全指導等

(1) 児童への安全指導（施設の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等）

- ・避難訓練等を通じて災害や防犯に対する理解を深め、速やかに避難行動が出来るようにする。
- ・交通ルールが理解出来るように配慮しながら送迎する。

(2) 保護者への説明・共有

- ・安全計画に関する取り組み内容についてHPに掲示し共有する。
- ・保護者自身が安全に係るルール・マナーを遵守し、交通安全・不審者対応について児童が確認できる機会を設けるなど児童が家庭で安全を学ぶ機会を確保するようお願い致します。

社会福祉施設 避難確保計画

対象災害：水害（雨水出水）

【施設名： チャイルドウィッシュ豊橋】

2026 年 2 月作成

1 計画の目的

この計画は、本施設の利用者の雨水出水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。
 また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、雨水出水に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法:水防法

2 施設の概要

利用形態	通所	入所
	○	×

※利用形態を記載
 ※入所には、長期・短期が分かるように記載

建物の階数	2	階
-------	---	---

※建物の階数を記載

施設の人数

	平日						休日					
	利用者			施設職員			利用者			施設職員		
昼間	約	10	名	約	5	名	約	10	名	約	5	名
夜間	約		名	約		名	約		名	約		名

※利用者数は最大の利用者数を記載(おおよその利用者数でもよい)
 ※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載
 ※夜間は入所部門の人数を記載

3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害(洪水、雨水出水、高潮、津波)

洪水浸水想定区域(洪水)	■該当なし	□該当 最大浸水深 浸水継続時間 家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無
雨水出水浸水想定区域(雨水出水)	□該当なし	■該当 最大浸水深 0.3m未満 浸水継続時間 0.5m以下記載なし
高潮浸水想定区域(高潮)	■該当なし	□該当 最大浸水深 浸水継続時間
津波災害警戒区域(津波)	■該当なし	□該当 基準水位 最大浸水深 津波到達時間

土砂災害

土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域	■該当なし	□該当(以下の該当する分類に☑) □がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) □土石流 □地すべり(地滑り)
------------------------	-------	--

● 計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

● 計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

4 防災体制

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮			情報連絡班 ※情報収集や伝達			避難誘導班 ※利用者の避難支援			装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備		
	責任者	代表取締役		責任者	管理者		責任者	管理者		責任者	管理者	
	人数	1	名	人数	1	名	人数	1	名	人数	1	名
警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階	・状況把握、指揮			・気象情報等収集								
	・体制確立の判断			・施設職員への情報伝達								
	・事前休業の判断											
警戒レベル2 ↓ 注意体制	・状況把握、指揮			・気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集			・避難誘導體制の確認			・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備		
	・施設職員等召集			・施設職員や避難支援協力者へ連絡			・避難ルートの確認			・移動用車両の手配		
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・状況把握、指揮			・気象情報、水位情報、避難情報等の収集			・避難誘導開始			・要配慮者等の装備品の装着		
	・避難開始判断			・利用者家族等への連絡						・移動用車両の確保		
				・市町村等への連絡						・避難先への持ち出し品等を運搬		
警戒レベル4 ↓ 非常体制	・状況把握、指揮			・市町村等への連絡			・避難完了の確認			・避難先での持ち出し品等の管理		
	・避難先での利用者支援の監督			・施設職員への情報伝達			・避難先での利用者支援					
	・(緊急安全確保の判断)						・(緊急安全確保の誘導)					

防災体制一覧表 ⇒様式12

警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを高める段階	・警報級の可能性(大雨警報または暴風警報)「中」または「高」が発表された場合 ・台風の接近が予想されている場合
警戒レベル2 ↓ 注意体制	・大雨または洪水注意報が発表された場合 ・梅田川氾濫注意情報が発表された場合
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	・高齢者等避難が発令された場合 ・大雨または洪水警報が発表された場合 ・梅田川氾濫警戒情報が発表された場合
警戒レベル4 ↓ 非常体制	・避難指示が発令された場合 ・梅田川氾濫危険情報が発表された場合 ・雨水出水氾濫危険情報が発表された場合

● 事前休業の判断について

以下のいずれかが発令されている場合は臨時休業とする。

事前休業の判断基準となる防災気象情報等

暴風警報又は特別警報

※開業時間と利用者の通所にかかる時間も考慮して、休業の判断をする。

5 情報収集・伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

様式 3

	収集すべき情報	入手先
共通の情報	【防災気象情報(気象庁)】 ・早期注意情報(警報級の可能性)	・気象庁HP ・市町村のメール通知サービス等
	【避難情報(市町村)】 ・警戒レベル3 高齢者等避難 ・警戒レベル4 避難指示 ・警戒レベル5 緊急安全確保	・市町村のHP ・市町村のメール通知サービス ・緊急速報メール 等
	【避難所の開設状況(市町村)】 指定緊急避難場所や 福祉避難場所の開設状況	・市町村のHP ・市町村へ電話問い合わせ 等
	道路の通行止め情報	・日本道路交通情報センターのHP 等

雨水出水	・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・雨水出水氾濫危険情報 (水位周知下水道において発表される情報)	・気象庁HP ・都道府県・市町村のHP ・市町村のメール通知サービス 等
------	---	--

(2) 情報伝達

警戒レベル	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル1	早期注意情報	インターネット (気象庁HP)	大雨の警報級の可能性「高」が発表されました。災害への心構えを高める段階です。	情報連絡班	施設職員
	事前休業のお知らせ	統括指揮者の判断を確認	〇〇日は、暴風警報が発令されましたので、施設を休業することになりました。	情報連絡班	施設利用者の家族
警戒レベル2	職員への招集連絡	統括指揮者の判断を確認	大雨注意報が発表されましたので施設に参集してください。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	洪水注意報	インターネット (気象庁HP)	洪水注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫注意情報	インターネット (川の防災情報)	〇〇川に氾濫注意情報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル3	大雨注意報	インターネット (気象庁HP)	大雨注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	高齢者等避難	市役所からの電話	高齢者等避難が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難先の開設情報	市役所へ電話	避難先の〇〇は開設されています。	情報連絡班	避難誘導班
	避難開始の連絡	避難誘導班に確認	〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を開始しました。	情報連絡班	市役所の担当部署
	洪水警報	インターネット (気象庁HP)	洪水警報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル4	氾濫警戒情報	インターネット (川の防災情報)	〇〇川に氾濫警戒情報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	大雨警報	インターネット (気象庁HP)	大雨警報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難指示	市役所からの電話	避難指示が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル4	避難完了の連絡	避難誘導班に確認	〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を完了しました。	情報連絡班	市役所の担当部署
	氾濫危険情報	インターネット (川の防災情報)	〇〇川に氾濫危険情報が発表されました。非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	土砂災害警戒情報	インターネット (気象庁HP)	土砂災害警戒情報が発表されました。非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者

利用者緊急連絡先一覧表 →様式8

緊急連絡網 →様式9

外部機関等の緊急連絡先一覧表 →様式10

6 避難誘導

(1) 避難先、移動距離及び避難方法

様式 4

- ①原則、施設利用者の適切な支援を提供できる屋内安全確保をする。
 ②市役所からの避難指示、又は安全確保が困難な場合は、指定緊急避難場所に避難をする。

洪水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

雨水出水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所	南部地区市民館	1,000 m	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3 台	15分	警戒レベル3 高齢者等避難
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保	チャイルドウィッシュ豊橋	0 m	事業所内待機、外出禁止			0分	警戒レベル3 高齢者等避難

高潮	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

津波	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		

土砂災害	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		

以下に該当するか検討の上、屋内安全確保を選択するかどうかを慎重に判断する

※家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、

津波による浸水のおそれがある区域に存していないこと

※浸水しない居室があること

※一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障を許容できること

・緊急安全確保

急激に災害が切迫することにより、避難確保計画に定めた場所への避難を安全にできないような、

過酷な事象に遭遇した場合は「 送迎時は近隣の安全な場所 」に緊急的に移動する

(2) 避難経路

避難先までの避難経路は、【施設周辺の避難地図】【施設建物内の避難経路図】のとおりとする。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする。

【施設周辺の避難地図】⇒別紙1、【施設建物内の避難経路図】⇒別紙2

対応別避難誘導一覧表 ⇒様式11

7 避難に必要な設備の整備

様式 5

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な設備等			
分類	設備等	数量	設置場所、保存場所
通常の設備	エレベーター	0	
	上下階の移動のできる大型スロープの設置	0	
	車椅子	0	
	その他()		
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置	0	
	土のう	0	
	止水板	0	
	階段昇降機の設置	0	
	その他()		

8 避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な装備品や備蓄品等			
分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	テレビやラジオ	0	
	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末	7	事務所
	電話やファックス	1	
	携帯電話やスマートフォン	4	各職員
	電池や非常用電源	0	
避難誘導	名簿(施設利用者)	11	PC、タブレット、スマホ
	案内旗	0	
	ビブス	0	
	懐中電灯	0	
	ハンドマイク	0	
	雨具	0	
	ライフジャケットやヘルメット	0	
	避難ルートを示したマップ	1	入口
	救急用品	1	リュック
	移動用の車両	4	駐車場
避難先	水や食糧	1日/人	事務所
	衛生用品や衣料品	0	
	電池や携帯充電器	0	
その他			

既存の消防計画等がある場合は、それに追加してもよい。

様式 6

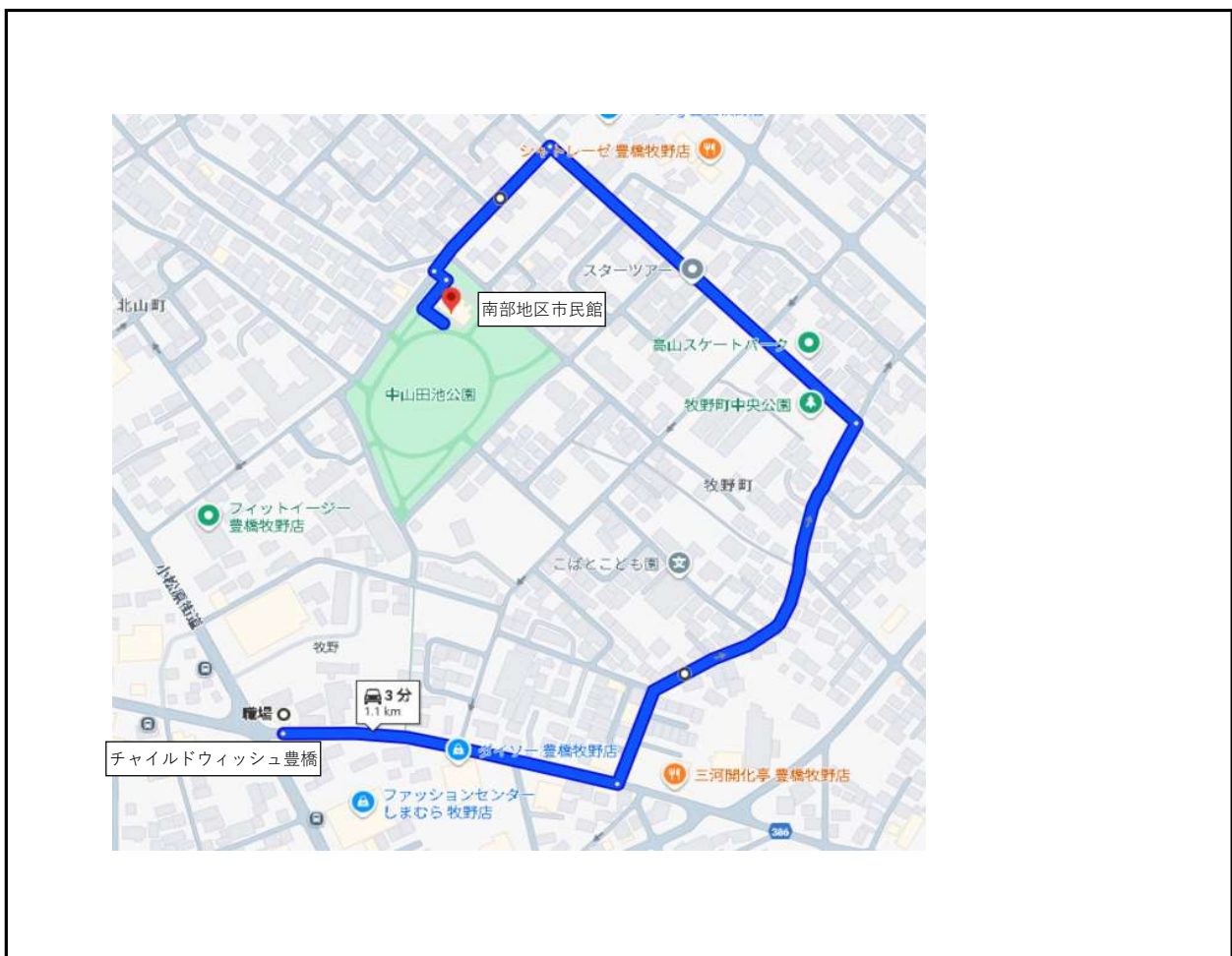
9 防災教育及び訓練の実施に関する事項

防災教育及び訓練の年間計画



【避難先までの避難経路図】

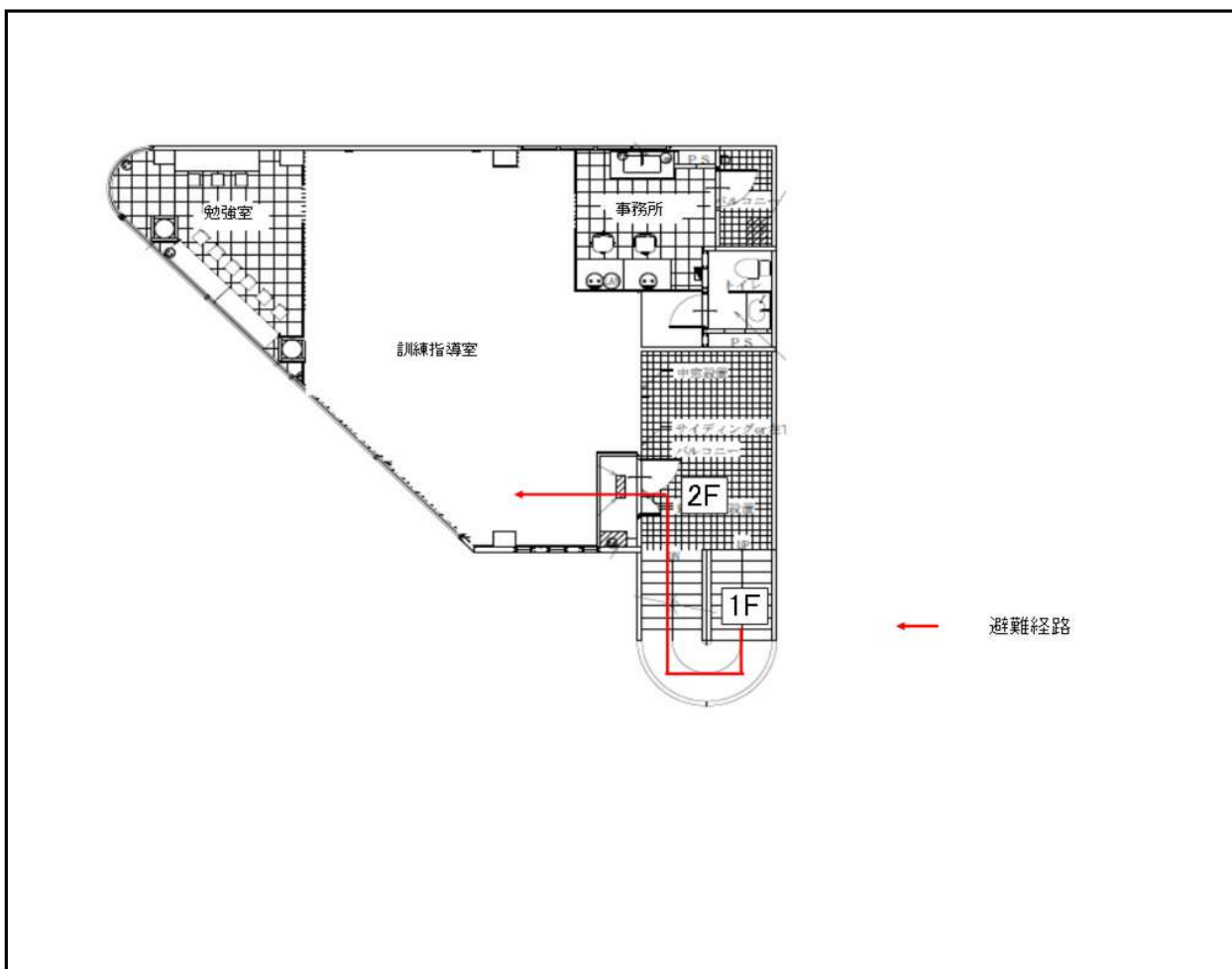
	立退き避難					
	避難先1	避難に要する時間	避難先2	避難に要する時間	避難先3	避難に要する時間
洪水						
雨水出水			南部地区市民館	15分		
高潮						
津波						
土砂災害						



※施設の位置、避難先の位置、避難方法(徒歩、自動車等)、避難に要する時間等を記載してください。
 避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

【施設建物内の避難経路図】

	屋内安全確保	避難に要する時間
洪水		
雨水出水	チャイルドウィッシュ豊橋	0分
高潮		



※施設建物内の避難経路図を記載してください。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直しするものとする。

